

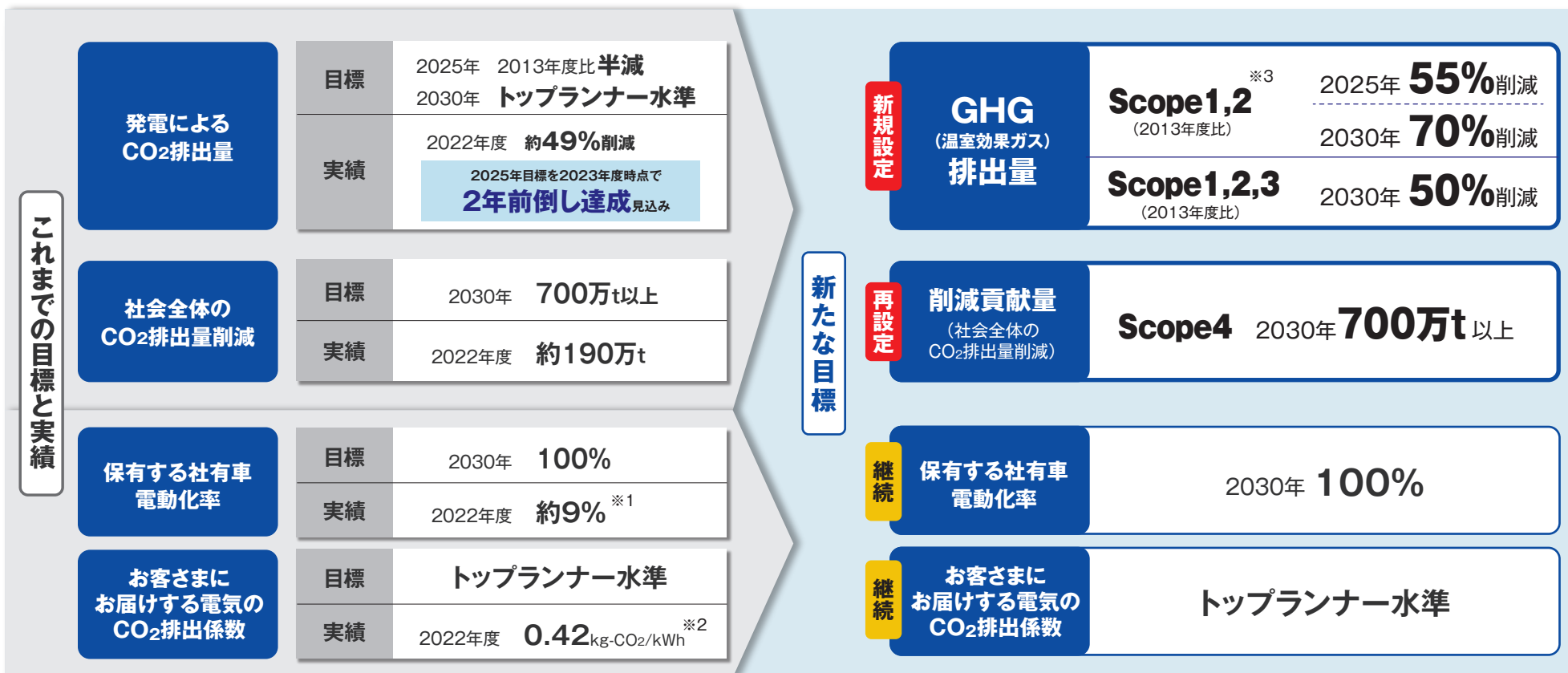
関西電力株式会社 ご説明資料

2024年7月2日



ゼロカーボンロードマップ改定にあたって ～新たな目標値の設定～

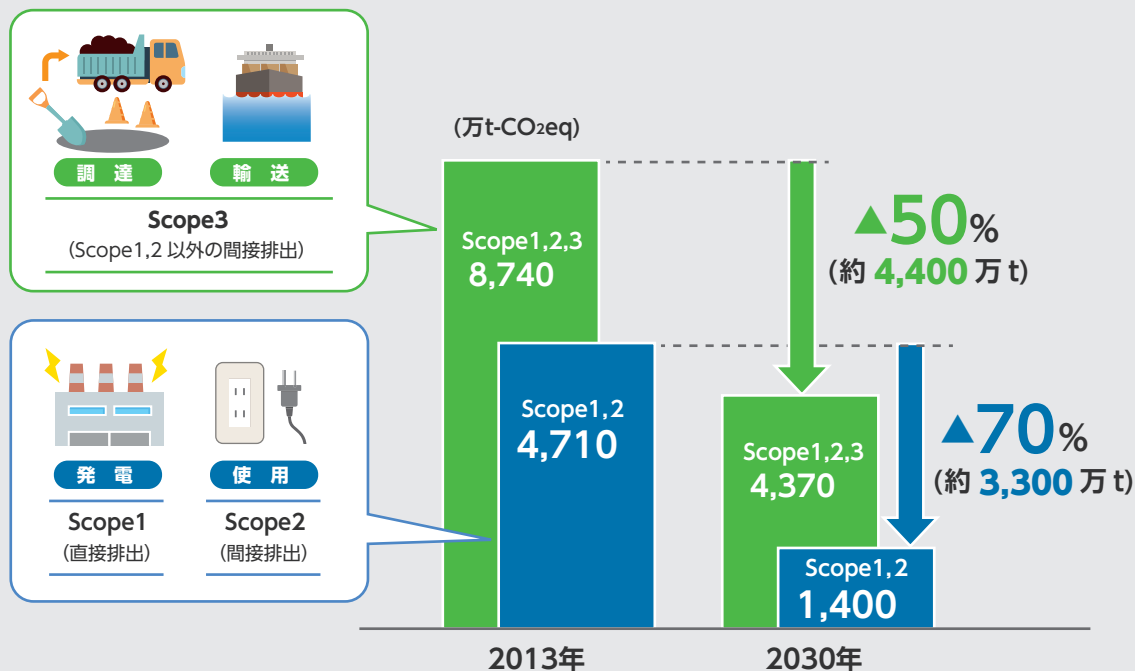
- 2025年のCO₂排出量削減目標は、原子力7基の再稼働実現などにより、2年前倒して達成見込みです。
- これまでの取組みの進捗や世界的な脱炭素化の潮流の高まりを踏まえ、2050年ゼロカーボンの実現に向け、取組みを更に加速するため、ゼロカーボンロードマップを改定します。
- 今回、ゼロカーボンエネルギーのリーディングカンパニーとして、チャレンジングな温室効果ガス(GHG)削減目標を新たに設定します。



※1 関西電力(株)+関西電力送配電(株) ※2 電気事業低炭素社会協議会会員事業者全体の調整後排出係数 0.437kg-CO₂/kWh(2022年度確報値)
※3 GXリーグへ2023年9月に提出した際の排出量目標値と同じ

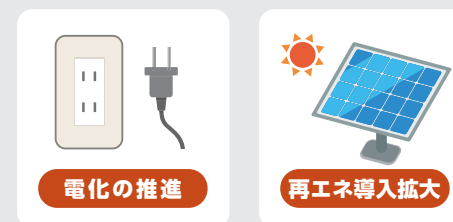
GHG(温室効果ガス)削減目標と削減貢献量目標

GHG削減目標^{※1} (Scope 1,2,3)



削減貢献量目標 (Scope 4)

▲700万 t 以上



Scope 4
(削減貢献量[※])

※GHG プロトコルに基づいた排出量とは別に、当社グループの製品・サービス提供を通じて、社会全体の排出量削減へと貢献した量



当社はGX リーズに参画しており、2023年度より開始されている排出量取引制度 (GX-ETS) において、自主的な排出削減目標を設定・提出しています。

(削減目標水準^{※2})

- ①2023-2025 年度総計 7,066(万 t-CO₂eq)
- ②2025 年度 2,135(万 t-CO₂eq) (2013 年度比▲55%)
- ③2030 年度 1,400(万 t-CO₂eq) (2013 年度比▲70%)

※1 図中の排出量は関西電力(株)、関西電力送配電(株)、(株)関電エネルギーソリューション、関電不動産開発(株)、(株)オペテージを含む

※2 GXリーグに提出した各年度における直接排出量目標(Scope1相当)・間接排出量目標(Scope2相当)の合計を記載